

FLET'S - GroupAccess Light

フレッツ・グループアクセス ライト

セットアップガイド
(Windows版)

東日本電信電話株式会社

- ・ 本操作マニュアルの一部または全部を東日本電信電話株式会社の許可なく複製することを禁じます。
- ・ 本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。
- ・ 本マニュアルにおける製品に関する記述は、情報を提供する目的で書かれたもので、保証もしくは推奨するものではありません。
- ・ Windows、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他の製品名などの固有名詞は、各メーカーの登録商標または商標です。
- ・ 本文中の各社の登録商標または商標には、マークは表示していません。

目次

第1章 ご利用の前に

1-1	サービス概要	1
1-2	ユーザタイプ	3
1-3	カスタマコントロール	4
1-4	サービス利用例	5
1-5	サービスの利用にあたって必要となる情報	6
1-6	サービス利用の前に必要な事前設定について	8

第2章 グループの利用

2-1	サービスを利用するために必要な情報	9
2-2	接続に利用するユーザ名とパスワード	10
2-3	グループ利用までの流れ	11
2-4	事前設定	12
①	フレッツ・ISDNの場合	12
②	フレッツ・ADSL、Bフレッツの場合	14
③	Windows XPの設定の場合	15
2-5	グループへの接続	17
2-6	(参考) ネットワーク設定および利用例	19
(1)	ネットワーク設定手順	19
(2)	IPアドレスを利用した通信方法	24

第3章 カスタマコントロールの利用 (グループ参加者)

3-1	はじめに	25
3-2	カスタマコントロールでできること	25
3-3	カスタマコントロール利用手順	26
3-4	カスタマコントロール操作手順	27

第4章 トラブルが発生したら

4-1	グループ接続時のトラブル	28
4-2	カスタマコントロール利用時のトラブル	31

第5章 お問い合わせ先

5-2	お問い合わせ窓口一覧	32
5-1	パスワードを紛失した場合	33
	パスワードの初期化/グループ暗証番号の変更お申し込み書	34

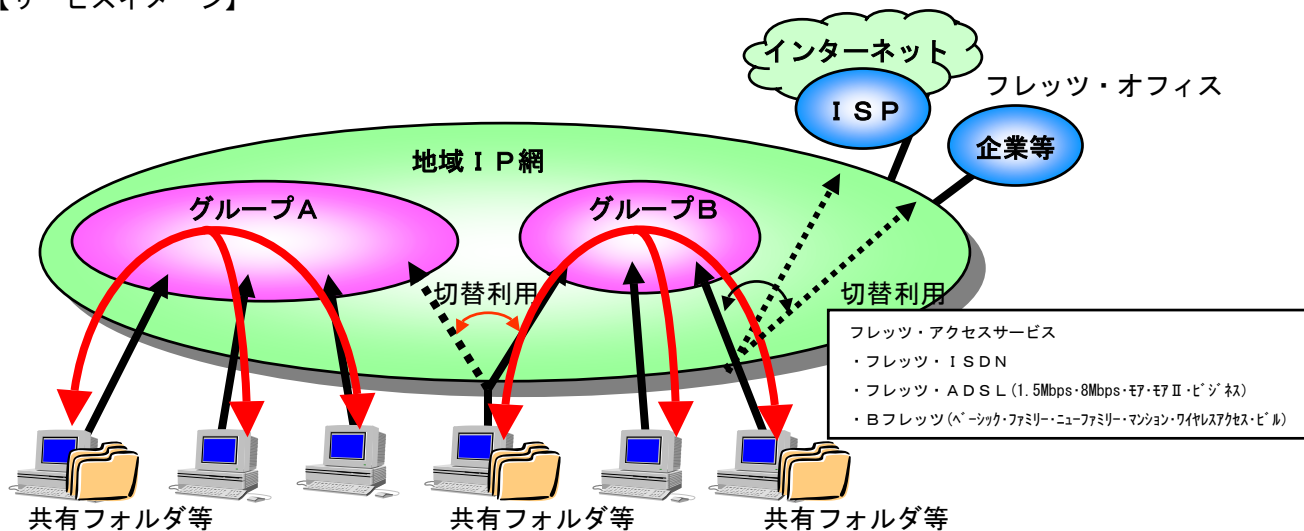
第1章 本サービスでできること

1-1 サービスの概要

フレッツ・グループアクセスは、フレッツ・ISDN、フレッツ・ADSL、Bフレッツ（以下、フレッツ・アクセスサービス）利用者でプライベートグループを構築することにより、簡易なグループ内での通信が可能となるCUG（Closed Users Group）サービスです。

本サービスを利用することにより、同一グループ内の契約者間でお互いの共有ファイルへのアクセス等が可能となり、SOHO・マスメンといった中小規模のグループにおいて簡易なプライベートネットワークとしてご利用いただけます。

【サービスイメージ】



※NTT東日本提供エリア*のフレッツ・アクセスサービス契約者間で、グループを利用することが可能です。

*NTT東日本提供エリアとは、北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・山梨・長野の計17都道府県エリアです。

図1-1 フレッツ・グループアクセスの概要図

サービスの特徴

(1) セキュリティの高いグループ内通信が可能

同じグループに接続しているフレッツ・アクセスサービスのご利用者間で通信が可能となります。また、インターネット上に出ることなく地域IP網上にてグループを形成するため、セキュリティの高い通信が可能です。

(2) 安価かつ簡単に利用が可能

すでにフレッツ・アクセスサービスをご契約されている場合には新たな通信機器等が必要とすることなく、付加利用料のみでご利用いただくことが可能です。

(3) 利用目的に応じた2つのプラン

お客様の規模・ご利用形態に応じた「フレッツ・グループアクセス ライト」と「フレッツ・グループアクセス プロ」の2つのプランを提供します。

サークル仲間とのネットワークとして利用の場合は「フレッツ・グループアクセス ライト」、企業内におけるイントラネットとして利用の場合は「フレッツ・グループアクセス プロ」といったように利用目的に応じて選択していただくことが可能です。

(4) 複数グループやインターネット等接続先を切り替えて利用可能

本サービスを複数契約し、複数のグループを切り替えて利用することが可能です。グループ内で通信していない時はグループとの接続を切断することもできるため、無断でアクセスされることを防止することが可能です。

また、インターネット接続^(*1)やフレッツ・オフィスへの接続と切り替えて利用することも可能であり、フレッツ・アクセスサービスの利用用途が広がります。

(*1) 別途インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。

1-2 ユーザタイプ

本サービスにかかわる契約種別（ユーザタイプ）は、グループ管理者とグループ参加者の2種類があります。以下、それぞれについて説明します。

グループ契約者	同一グループを利用する本サービスの契約者です。
グループ管理者	<p>グループの管理を行う契約者です。</p> <p>カスタマコントロールを利用して、グループの管理を行うとともに、グループ参加希望者に対して、必要な情報の通知を行います。</p> <p>グループ管理者は、グループ内に1契約者のみであり、グループを開設した契約者が初期のグループ管理者となります。</p>
グループ参加者	<p>グループ管理者以外のグループ契約者であり、グループ管理者の承諾のもとグループに参加します。</p> <p>グループ管理者より通知された情報によってグループを利用します。</p>

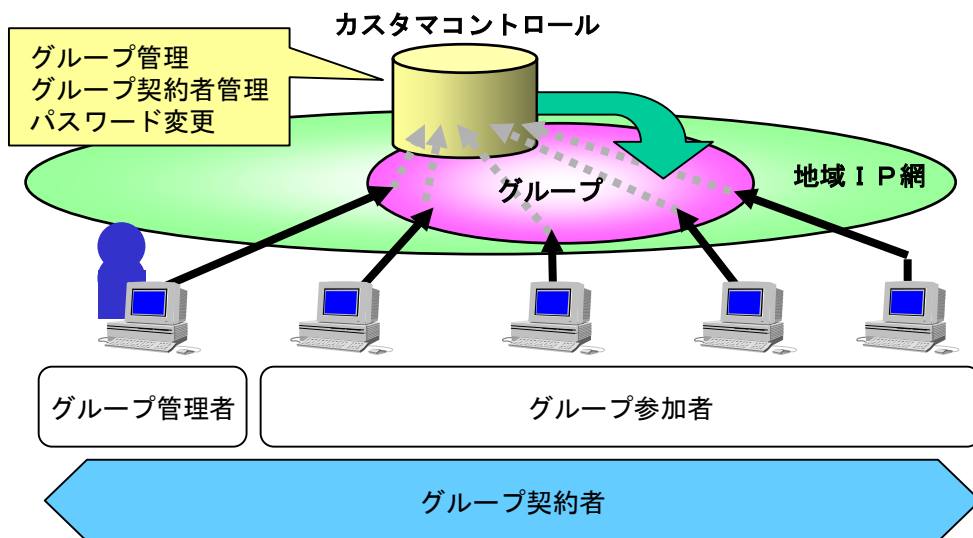


図1-2 グループ管理者とグループ参加者

1-3 カスタマコントロール

カスタマコントロールとは、本サービス契約者がグループに関する情報を管理・設定等できる機能です。

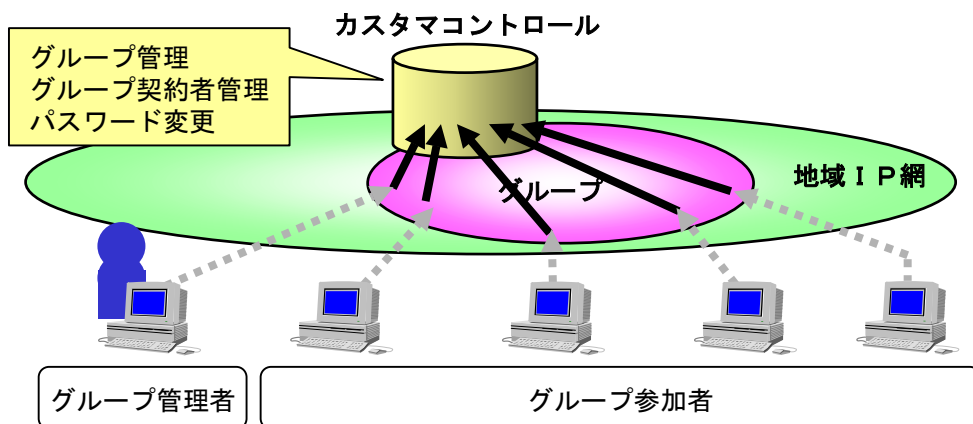


図1-3 グループ管理者とグループ参加者のカスタマコントロール

カスタマコントロールで利用できる機能

カスタマコントロールで利用できる機能は、ユーザタイプにより異なります。

項目	グループ参加者	グループ管理者 (※)
グループ契約者登録内容の確認	—	○
グループ暗証番号の設定	—	○
パスワード変更	○	○

(※) グループ管理者が利用できる機能の詳細については「カスタマコントロール操作マニュアル」(別冊)を参照してください。

カスタマコントロール利用方法

グループ契約者は、グループに接続した状態でWebブラウザを起動し、カスタマコントロールURLを入力することによりカスタマコントロールへアクセスできます。

具体的な設定内容についてはP25を参照ください。

1-4 サービス利用例

本サービスの利用にあたっては、同一ネットワークの設定や、HTTPやFTPサーバの構築等事前の準備をお客さまにて行っていただく必要があります。

■ネットワーク設定を利用したネットワーク利用

オペレーティングシステム（OS）等のネットワーク設定を行うことにより、各端末のフォルダ共有やサーバの共有を行います。

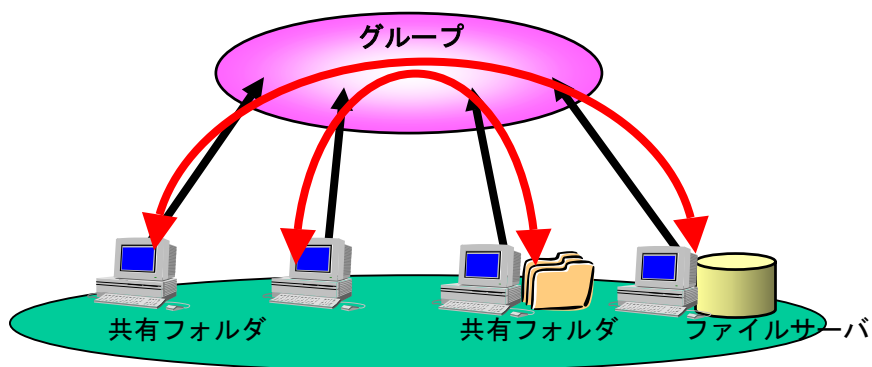


図1-4 オペレーティングシステム等のネットワーク設定によるファイル共有
(例: Windowsの共有設定等)

■HTTPやFTPを利用したサーバの利用

HTTPやFTPなどのTCP/IP上のプロトコルを利用したサーバを構築することにより、オペレーティングシステムの設定等を行うことなく情報の共有（掲示板利用等）やファイルの共有（アップロード/ダウンロード）を行うことが可能です。

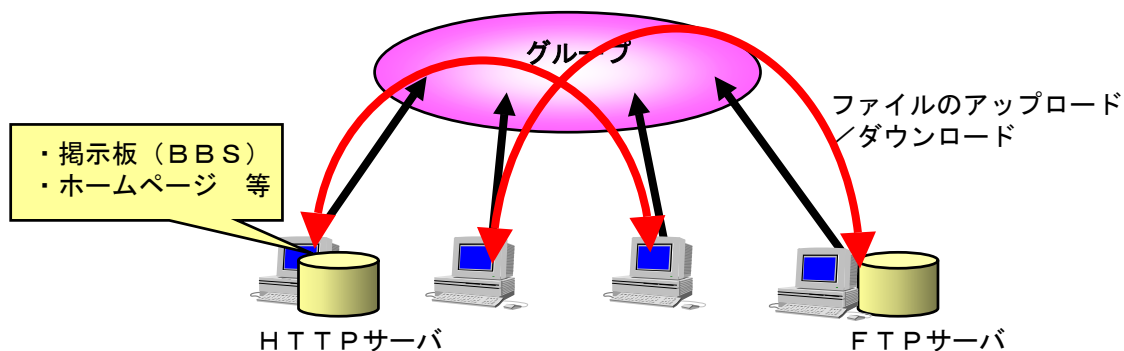


図1-5 HTTP/FTPサーバの構築

1-5 サービスの利用にあたって必要となる情報

本サービスを利用する際に必要となる情報は以下のとおりです。

グループ名

グループの名前です。グループへ接続する際に使用します。

グループユーザID

グループ契約者が利用するユーザIDです。グループおよびカスタマコントロールを利用する際、グループ名と合わせて使用します。利用できるグループユーザIDは、グループ新設時にNTT東日本より指定します。

パスワード

グループ契約者のパスワードです。
グループ参加者は、グループ管理者より、使用するパスワードの通知を受ける必要があります。

- 初期パスワードはグループユーザIDと同一となっています。
なお、グループ参加者廃止に伴い未使用となったグループユーザIDを再利用するケースでは、前利用者によりパスワードが変更されている可能性があるため、グループ管理者は、前利用者により、前利用者が使用していた最新のパスワードを確認した上で、グループ参加者に通知する必要があります。
- グループ契約者のパスワードは、後から各グループ契約者がカスタマコントロールを利用することにより変更することが可能です。

カスタマコントロールURL

カスタマコントロールへ接続する際にブラウザ上で指定するURLです。

IPアドレス/サブネットマスク

グループ契約者からグループへの接続の際、「グループユーザID/パスワード」による認証後に「IPアドレス」が付与されます。

グループユーザIDに対して、常に同一のIPアドレスが付与されるので、常に同じIPアドレスを利用してグループ内での通信を行うことが可能です。

- ◆ フレッツ・グループアクセス ライトでは、各グループユーザIDに対して1つのIPアドレスを付与します。付与されるIPアドレスはグループ開設時にNTT東日本より通知します。

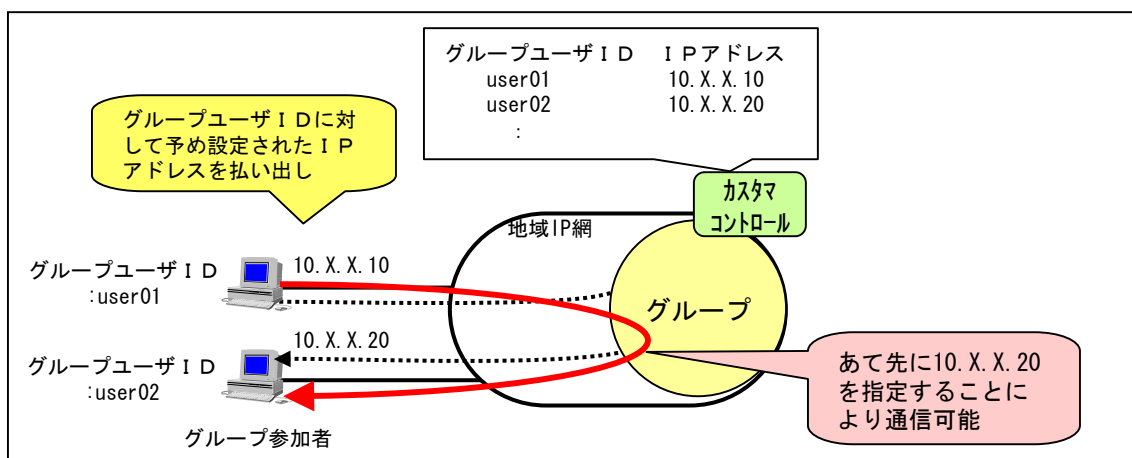


図1-6 IPアドレスの払い出しと利用イメージ



注意点

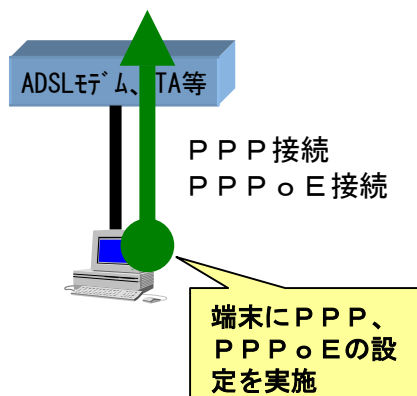
- ・グループユーザIDごとに利用するIPアドレスは、NTT東日本より割り当てられます。本サービスお申し込みの際の画面に表示されますので必ずご確認ください。
- ・グループ参加者が設定内容を再度確認する場合、グループ管理者へご連絡ください。
- ・「フレッツ・グループアクセス ライト」の利用にあたっては、端末のIPアドレスの設定は「付与されたものを利用する」に設定していただく必要があります。
- ・拠点内でLANを利用する場合は、グループへの接続の際に付与されるIPアドレスと、ネットワークのアドレス体系が重複しないようご注意ください。

1-6 サービス利用の前に必要な事前設定について

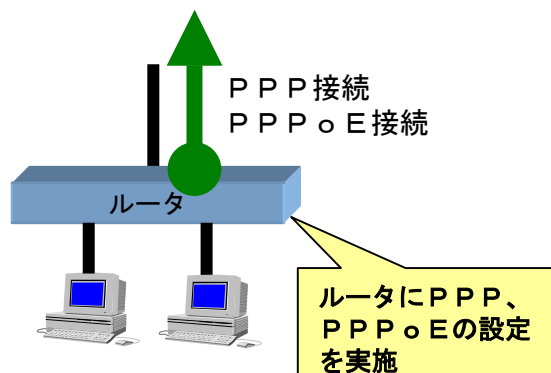
本サービスを利用するには、グループへの接続設定が必要です。
事前設定の方法は、端末に設定を行う場合とルータに設定を行う場合があります。

- ◆ 本セットアップガイドでは、端末に設定を行い利用する場合について手順を説明します。ルータ等を利用する場合はご利用になるルータに添付されているマニュアル等を参照してください。

<端末にPPP、PPPoE設定を行う場合>



<ルータにPPP、PPPoE設定を行う場合>



事前設定

P 1 2 ~ P 1 6 参照

(フレッツ・I S D N の場合) (フレッツ・ADSL、(Windows B フレッツの場合) X P の場合)

PPPの
設定
(P 1 2 ~ P 1 3
参照)

PPPoE
の設定
(P 1 4 参照)

Windows
XPの設定
(P 1 5 ~ P 1 6
参照)

事前設定

**お客さまがご利用になる
ルータ添付のマニュアル参照**

お客さまがご利用になるルータの設定
(ルータ添付のマニュアルを参照)

グループへの接続は (グループ参加者、管理者共)

P 1 7 ~ P 1 8 参照

グループ参加者のカスタマコントロールへの接続は

P 2 6 ~ P 2 7 参照

ネットワーク設定および利用例は、

P 1 9 ~ P 2 4 参照

グループ管理者のカスタマコントロールへの接続は

**カスタマコントロール操作
マニュアル (別冊) 参照**

第2章 グループの利用

2-1 サービスを利用するために必要な情報

新規グループ開設の際に申込み完了画面で表示される情報は、本サービスを利用する際に必要となります。以下に、記載されている項目について説明します。

なお、本情報は非常に重要な情報となりますので、印刷するなどしてお客さまの責任のもと大切に保管してください。(なおグループ利用開始日以降、フレッツ・スクウェア上のサービス申込受付ページの「ご利用状況の詳細」よりご確認くださいことも可能です)

例) 新規グループ開設時の申込み完了画面

3 / X 申込み完了

新規グループの開設(フレッツ・グループアクセス ライト)お申し込みを承りました。ご利用いただくグループの情報は以下のとおりです。

なお、工事予定日に開通できない場合がございますことをあらかじめご了承ください。

お客さまはグループ管理者となりますので、グループのご利用にあたって行っていただくことがございます。詳細はセットアップガイドをご覧ください。(画面下の「セットアップガイドダウンロード(フレッツ・グループアクセス ライト)」リンクよりダウンロードできます。)

お問い合わせの際に、この画面に表示されている情報をお伺いすることがございますので、印刷するなどしてお手元へ保存してください。

お申し込み内容	新規グループ申込み
プラン	フレッツ・グループアクセス ライト
グループ名	xxxxxxx1.galight.flets
グループ暗証番号(※)	a b c d
月額利用料	×××円
工事予定日	2002年3月xx日 午後9:00

ご利用いただけるアカウント情報

	グループユーザID	初期パスワード	IPアドレス
グループ管理者	user01	user01	192.168.1.1
グループ参加者	user02	user02	192.168.1.2
:	:	:	:
グループ参加者	User10	User10	192.268.1.10

カスタムコントロールURL <http://bcous01.flets/light/xxxxxxx1.galight.flets/>

[セットアップガイドダウンロード
\(フレッツ・グループアクセス ライト\)](#)

(1) グループ名

グループの名前です。グループへ接続する際に使用します。

(2) グループ暗証番号(※1)

グループ暗証番号です。グループ参加申込みの際に使用します。

(3) グループユーザID

グループ管理者、グループ参加者のグループユーザIDです。

(4) 初期パスワード(※2、※3)

グループ管理者、グループ参加者の初期パスワードです。(グループユーザIDと同じ)

(5) IPアドレス

各グループユーザIDで利用するIPアドレスです。

(6) カスタムコントロールURL

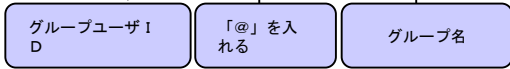
カスタムコントロールを利用する際にブラウザで指定するURLです。

- (※1) グループ暗証番号は、グループ参加者の『既存グループ参加受付完了』画面には表示されません。
- (※2) グループ参加者は、グループ管理者から、使用するパスワードの通知を受ける必要があります。
- (※3) グループ参加者廃止に伴い未使用となったグループユーザIDを再利用する場合、グループ管理者は、前利用者に、前利用者が使用していた最新のパスワードを確認した上で、グループ参加者に通知する必要があります。

2-2 接続に利用するユーザ名とパスワード

ここでは、本サービスを利用する際に使用するユーザ名とパスワードについて説明します。

グループ利用時のユーザ名とパスワード

	設定内容
ユーザ名	<p>「グループ参加者のグループユーザID」 + 「@」 + 「グループ名」</p> <p>例) <u>user01@xxxxxxx1.galight.flets</u></p>  <p>グループユーザID・・・P9の(3)のグループユーザIDを使用 グループ名・・・P9の(1)のグループ名を使用</p> <p>*グループユーザIDとグループ名は半角(大文字・小文字の区別あり)で入力します。</p>
パスワード	<p>グループ契約者のパスワードです。グループ参加者は、グループ管理者から、使用するパスワードの通知を受ける必要があります。初期のパスワードは、グループユーザIDと同じものを使用します。なお、グループ参加者廃止に伴い未使用となったグループユーザIDを再利用するケースでは、前利用者によりパスワードが変更されている可能性があるため、グループ管理者は、前利用者により、前利用者が使用していた最新のパスワードを確認した上で、グループ参加者に通知する必要があります。</p> <p>パスワードは、後からカスタマコントロールを利用して変更することが可能です。パスワードを変更した場合は、パスワード紛失をしないよう十分ご注意ください。</p> <p>例) <u>pass01</u> 初期パスワード・・・P9の(4)の初期パスワード</p> <p>*パスワードは半角(大文字・小文字の区別あり)で入力します。</p>

2-3 グループ利用までの流れ

本サービス利用にあたって事前設定を行う必要があります。お客さまのご利用になる環境により、設定手順が異なります。

I. 事前設定 (P 12~P 16 参照)

グループに接続するために必要な情報を確認し、事前設定を行います。

OS \ 利用回線	フレッツ・ISDN	フレッツ・ADSL	Bフレッツ
Windows 95 Windows 98 Windows Me Windows 2000	PPP接続設定 (P 12~P 13)	PPPoE接続設定 (P 14)	
Windows XP	Windows XP の設定 (P 15~P 16)	PPPoE接続設定 (P 14) または Windows XPの設定 (P 15~P 16)	

II. グループへの接続例 (P 17~P 18 参照)

Iの事前設定で行った環境をもとに、グループへの接続を行います。

III. ネットワーク設定および利用 (参考)

グループ内の通信方法の一例として、Windowsネットワークの設定と通信を行います。

(1) ネットワーク設定 (P 19~P 23 参照)

Windowsネットワークの設定を行います。

(2) IPアドレスを利用した通信 (P 24 参照)

IPアドレスを利用して相手先のコンピュータに接続します。

2-4 事前設定

ここでは、グループを利用するための事前設定として、①フレッツ・ISDN回線を利用している場合のPPP接続、②フレッツ・ADSL、Bフレッツを利用している場合のPPPoE接続、③Windows XPを利用している場合の接続の設定方法について説明します。

① フレッツ・ISDNの場合（PPP接続設定）

ここではWindows 98を例に、ダイヤルアップネットワークからPPP接続の設定を行う手順を説明しています。このほか、「インターネット接続ウィザード」等からも設定を行うことができます。

画面の表示内容については、お使いのパソコンやソフトウェアなどにより一部異なることがあります。

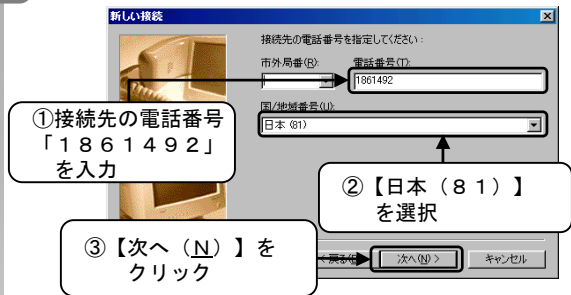
1

【マイコンピュータ】→【ダイヤルアップネットワーク】を開き、【新しい接続】をダブルクリックします。



3

ダイヤルアップ番号を入力し、【次へ (N)】をクリックします。

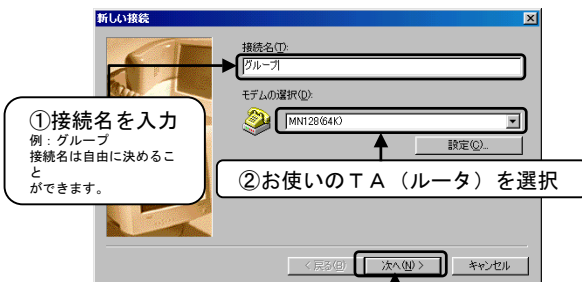


◆ 接続先の電話番号

本サービスを利用するには発信者番号通知を行う必要がありますので、必ず「1861492」（186+1492（フレッツ・ISDN共通の接続先番号）を設定してください。）

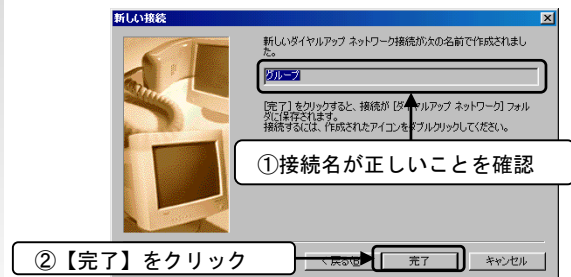
2

グループ接続用として任意の接続名を入力し、モデムを選択した上で、【次へ (N)】をクリックします。ここでは、グループ接続用の入力例を記載しています。（例 グループ）

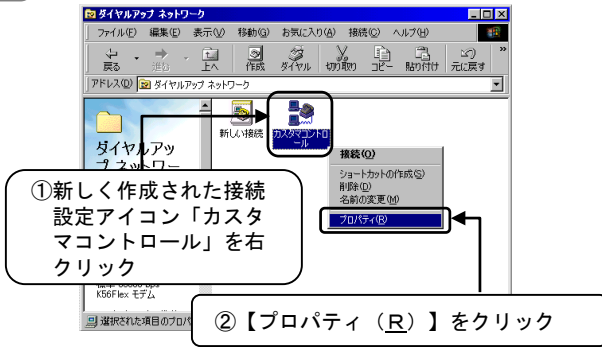


4

接続名を確認した上で、完了をクリックします。



5 接続設定アイコンのプロパティを開きます。



6 サーバーの種類ダブを選択します

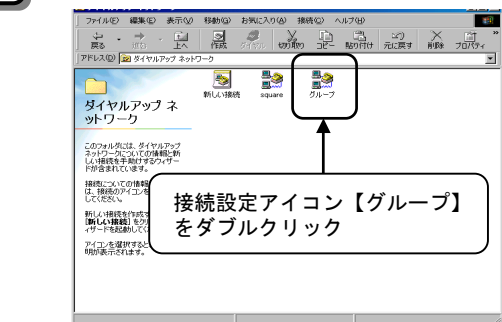


7 不要なチェックをはずします。

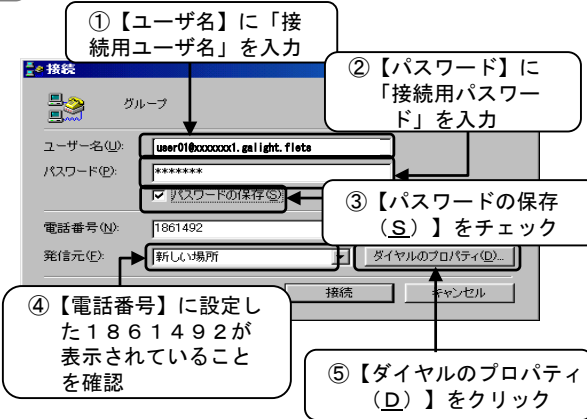


(*) お客様のネットワーク環境によっては、チェックを入れる必要があります。

8 接続設定アイコンを開きます。



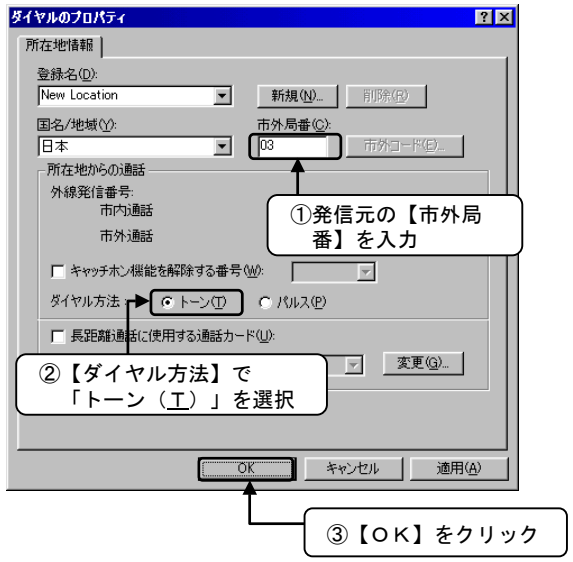
9 ユーザー名、パスワードの設定をします。



❗ 入力するユーザー名 (P 10参照)
P 10のグループ利用時のユーザー名を入力

❗ 入力するパスワード (P 10参照)
P 10のグループ利用時のパスワードを入力

10 ダイヤルのプロパティを設定します。



以上で、PPP接続の設定が完了しました。
引き続き、P 17でグループへの接続を行います。

② フレッツ・ADSL、Bフレッツの場合（PPPoE接続設定）

- ❗ ここでは、グループ接続、カスタマコントロール用にフレッツ接続ツールを使ってPPPoE接続の設定を行う手順について説明します。（下記の設定例は、Version2.2.5の場合の設定例です。なお、Windows 95をお使いの場合は、Version.1.5Eをお使い下さい）
- ❗ 画面の表示内容については、お使いのパソコンやソフトウェアのバージョンなどにより、一部異なることがあります。

1 フレッツ接続ツールを起動し、【新規プロファイルの作成】をダブルクリックします。

3 ユーザ名、パスワードの設定をします。

2 接続サービス名称画面で、グループ接続用、カスタマコントロール接続用の任意の接続名を入力し、【次へ (N)】をクリックします。ここでは、グループ接続用の例を記載しています。（例：グループ、カスタマコントロール）

❗ **入力するユーザ名（P10参照）**
グループ利用設定の場合
 → P10のグループ利用時のユーザ名を入力

カスタマコントロール利用設定の場合
 → P10のカスタマコントロール利用時のユーザ名を入力

❗ **入力するパスワード（P10参照）**
グループ利用設定、カスタマコントロール利用設定の場合で共通
 → P10のグループ利用時のパスワードを入力

4 内容に間違いがなければ、完了をクリックします。

以上で、PPP接続の設定が完了しました。引き続き、P17でグループへの接続を行います。なおカスタマコントロール用の設定も同様に行ってください。

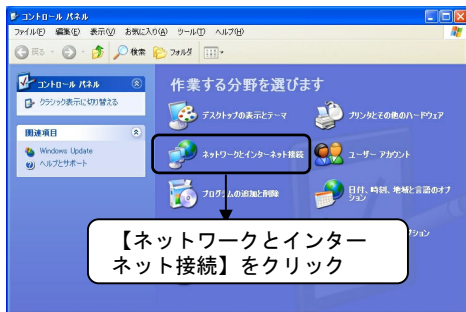
③ Windows XPの設定の場合

- ◆ ここでは、Windows XPからグループ接続用にフレッツ・ISDNを使用したPPP接続、フレッツ・ADSL、Bフレッツを使用したPPPoE接続の設定を行う際の手順を説明します。
- ◆ 画面の表示内容については、お使いのパソコンやソフトウェアなどにより、一部異なることがあります。

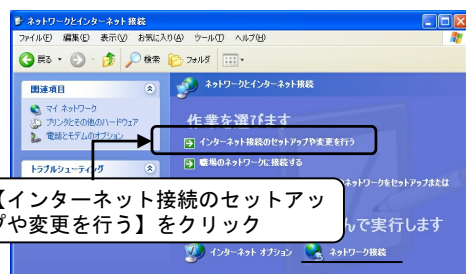
1 【スタートボタン】→【コントロールパネル(C)】を選択します。



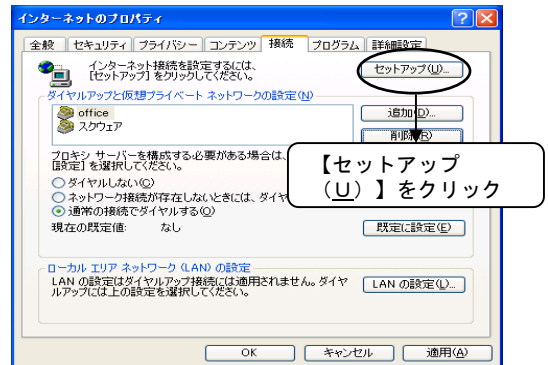
2 【コントロールパネル】中の【ネットワークとインターネット接続】をクリックします。なお下の画面の表示状態は【カテゴリの表示】あり、クラシック表示の場合は【カテゴリの表示に切り替える】をクリックして、表示状態を切り替えて下さい。



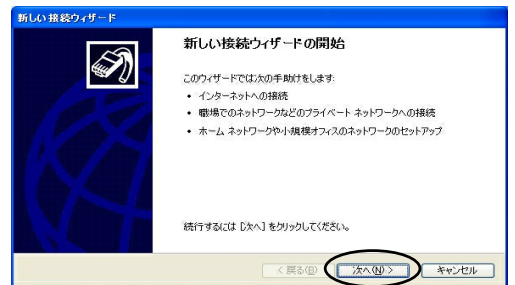
3 【インターネット接続のセットアップや変更】を行うをクリックします。なお画面下部にある【ネットワーク接続】→【新しい接続を作成する】と、5にある【新しい接続ウィザード】が開始されます。



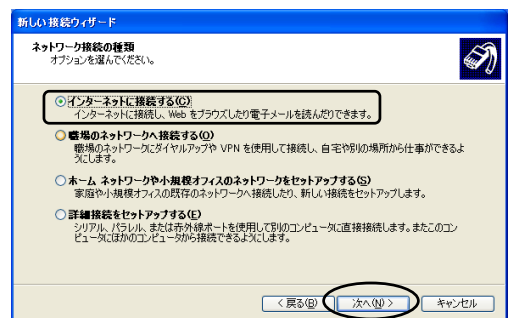
4 インターネットのプロパティ画面（接続タブ）が開くので【セットアップ(U)】ボタンをクリックします。



5 【新しい接続ウィザードの開始】が表示されるので【次へ(N)】をクリックします。

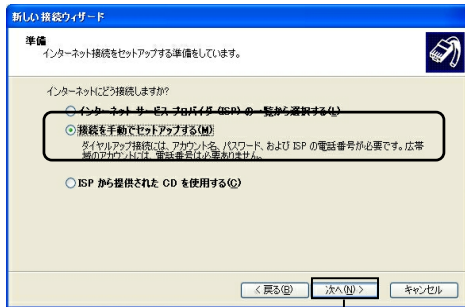


6 一番上の【インターネットに接続する(C)】を選択し、【次へ(N)】をクリックします。



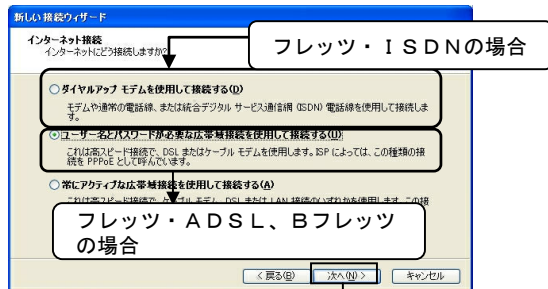
【次へ(N)】をクリック

7 二番目の【接続を手動でセットアップする (M)】を選択し、【次へ (N)】をクリックします。



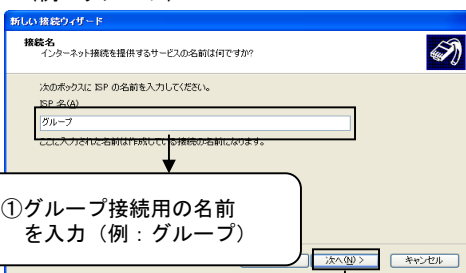
【次へ (N)】をクリック

8 フレッツ・ISDNの際は、一番上の【ダイヤルアップモデムを使用して接続する (D)】、フレッツ・ADSL、Bフレッツの際は、上から二番目の【ユーザ名とパスワードが必要な広帯域接続を使用する (U)】を選択し、【次へ (N)】をクリックします。



【次へ (N)】をクリック

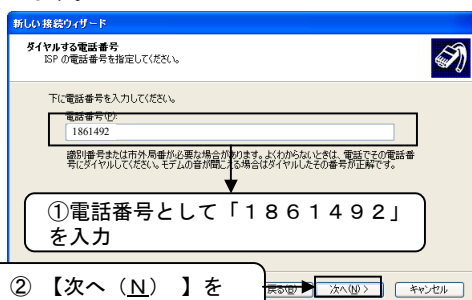
9 「ISP名 (A)」にグループ接続用としてお客さま任意の名前を入力し、【次へ (N)】をクリックします。(例: グループ)



①グループ接続用の名前を入力 (例: グループ)

②【次へ (N)】をクリック

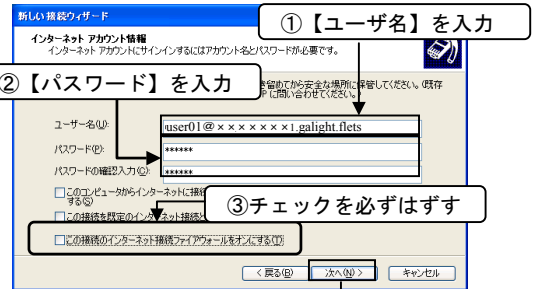
10 フレッツ・ISDNの際は、電話番号として「1861492」を入力し、【次へ (N)】をクリックします。



①電話番号として「1861492」を入力

②【次へ (N)】をクリック

11 ユーザ名、パスワード、パスワード (確認入力) の入力を行い、次へをクリックします。また「このインターネット接続でファイアウォールをオンにする (L)」のチェック必ずはずします。



④【次へ (N)】をクリック

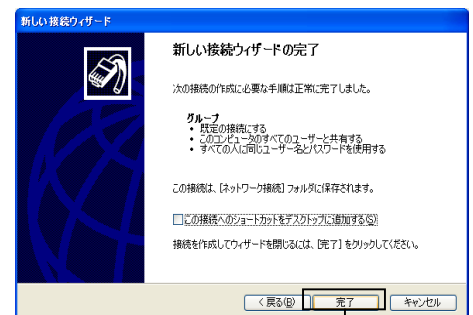
◆ 入力するユーザ名 (P 10参照)

P 10のグループ利用時のユーザ名を入力

◆ 入力するパスワード (P 10参照)

P 10のグループ利用時のパスワードを入力

12 完了ボタンをクリックします。(ショートカットが必要な場合は「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する (S)」にチェックをつけます。)



【完了】ボタンをクリック

以上で、Windows XPの設定が完了しました。引き続き、P 17でグループへの接続を行います。

2-5 グループへの接続

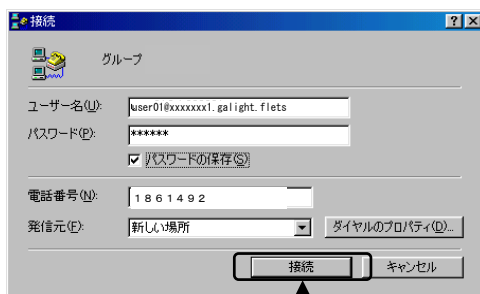
ここでは、グループへの接続手順について説明します。

1

<フレッツ・ISDN（PPP接続）の場合>

【マイコンピュータ】→【ダイヤルアップネットワーク】を開き、事前設定で作ったグループ接続用のアイコン（グループ）を開きます。入力されているユーザ名・パスワードが正しいかを確認した上で、【接続】をクリックします。

P 12 ~ P 13 参照



【接続】をクリック

<フレッツ・ADSL、Bフレッツ（PPP over E接続）の場合>

【フレッツ接続ツール】を起動し、事前設定で作ったグループ接続用のアイコン（グループ）をダブルクリックします。

P 14 参照



アイコンをダブルクリック

他の接続の切断

他の接続先へ接続がされている場合

→ P 18 の回線の切断を他の回線について事前に実行してください。

<Windows XPの設定の場合>

P 15 ~ P 16 参照

スタートメニューの【接続 (I)】より、事前設定にて作成した接続先を選択します。入力されているユーザ名・パスワードが正しいかを確認した上で、【接続 (C)】をクリックします。



【接続 (C)】をクリック

2

ユーザ名、パスワードのチェックが行われ、グループへ接続されます。



タスクバーに【インジケータ】が表示されます

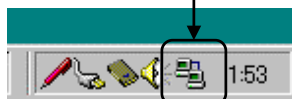
上記の表示が出た場合は正常に、グループに接続されています。

回線の切断

接続している回線の切断は、以下の手順で行います。

1

タスクバーの【インジケータ】
をダブルクリック



2



【切断】をクリック

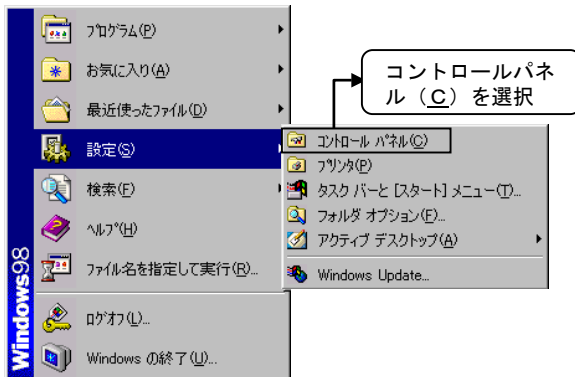
2-6 (参考) ネットワーク設定および利用例

ここでは、グループ内の通信方法の一例として、Windows ネットワークの設定手順と通信方法を説明します。

(1) Windows 98 の場合のネットワーク設定手順

1

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」を選択します。



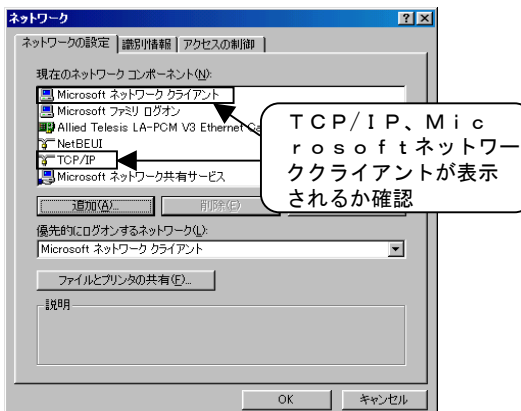
2

「ネットワーク」をダブルクリックします。



3

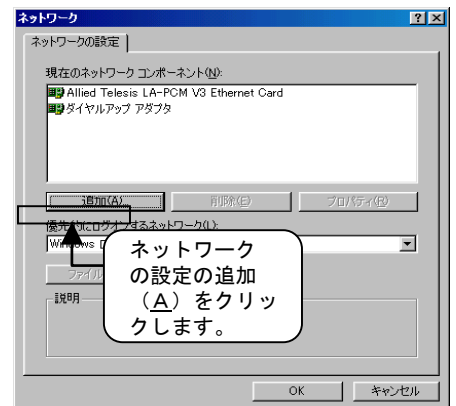
「ネットワークの設定」を選択し、「TCP/IP」や「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されているかを確認し、ない場合には追加します。



TCP/IPの追加

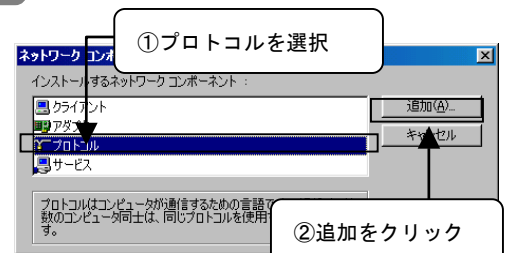
1

「ネットワークの設定」の追加をクリックします。



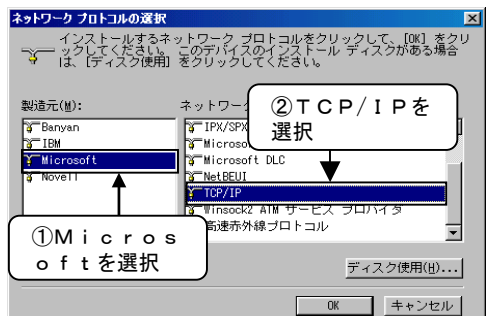
2

プロトコルを選択し、追加をクリックします。



3

「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択します。最後にOKをクリックします。



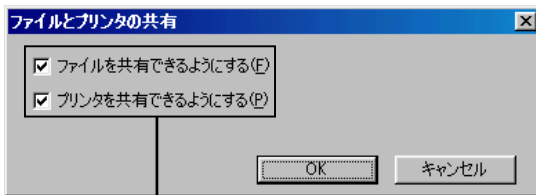
4

「ファイルとプリンタの共有 (F)」をクリックします。



5

「ファイルを共有できるようにする (F)」と「プリンタを共有できるようにする (P)」のチェックボックスをクリックして、チェックマークをつけます。



「ファイルを共有できるようにする (F)」と「プリンタを共有できるようにする (P)」のチェックボックスをクリック

6

Microsoft ネットワーク共有サービスが追加されていることを確認します。



以上で、Windows ネットワーク利用の設定が完了しました。
引き続き、P24でIPアドレスによる通信を行います。

Microsoft ネットワーククライアントの追加

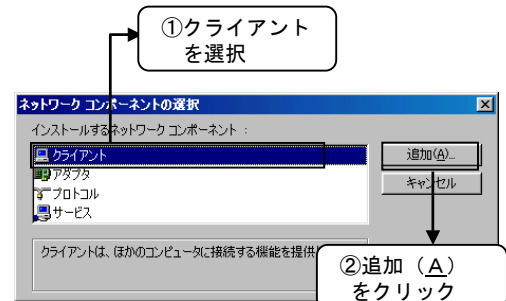
1

「ネットワークの設定」の追加をクリックします。



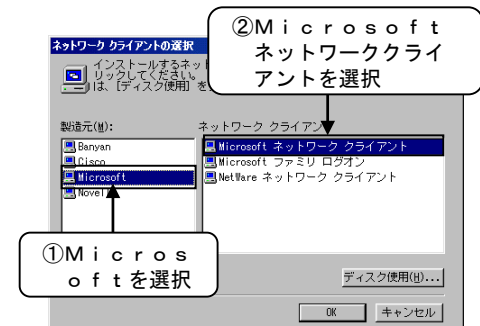
2

クライアントを選択し、追加 (A) をクリックします。



3

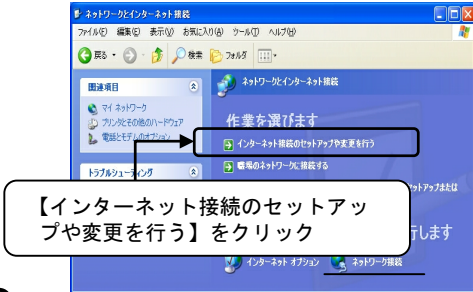
「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワーククライアント」は「Microsoft ネットワーククライアント」を選択します。最後にOKをクリックします。



Windows XPをご利用の場合のネットワーク設定手順

Windows XPをご利用になる場合、【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオンにし、「NetBIOSoverTCP/IP」を有効にする必要があります。

1 スタートメニューから【コントロールパネル】を選択し、その中の【ネットワークとインターネット接続】画面を開いた上で、【インターネット接続のセットアップや変更を行う】をクリックします。



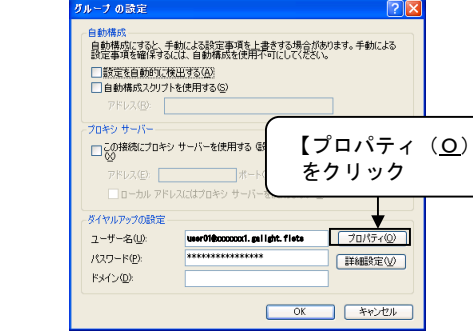
【インターネット接続のセットアップや変更を行う】をクリック

2 事前設定でグループ接続用として設定した名前【グループ】を選択し、【設定(S)】をクリックします。



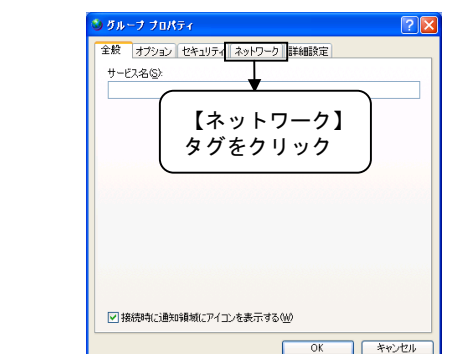
①【グループ】を選択
②【設定(S)】をクリック

3 グループの設定画面で、【プロパティ(P)】をクリックします。



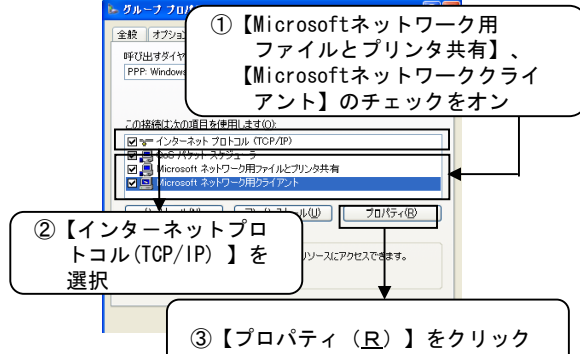
【プロパティ(P)】をクリック

4 プロパティの画面で【ネットワーク】タグをクリックします。



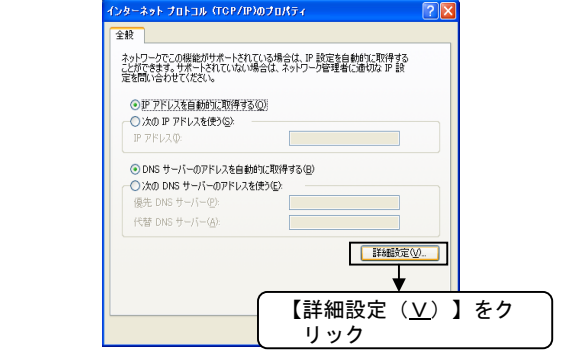
【ネットワーク】タグをクリック

5 【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオンにした上で、【インターネットプロトコル(TCP/IP)】を選択し、【プロパティ(R)】をクリックします。



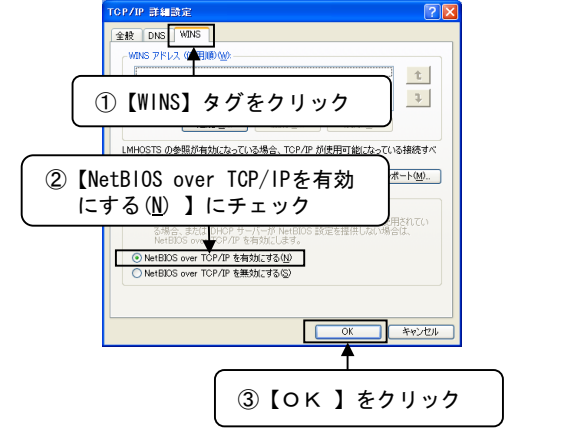
①【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオン
②【インターネットプロトコル(TCP/IP)】を選択
③【プロパティ(R)】をクリック

6 【インターネットプロトコルTCP/IPのプロパティ】の画面で、【詳細設定(V)】をクリックします。



【詳細設定(V)】をクリック

7 TCP/IP詳細設定で【WINS】タグを選択し、【NetBIOS over TCP/IPを有効にする(N)】にチェックを入れた上で、【OK】をクリックします。



①【WINS】タグをクリック
②【NetBIOS over TCP/IPを有効にする(N)】にチェック
③【OK】をクリック

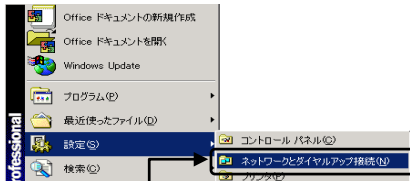
以上で、Windows XPの設定が完了しました。引き続き、P24でIPアドレスによる通信を行います。

Windows 2000をご利用の場合のネットワーク設定手順

- Windows 2000をご利用になる場合、【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオンにする必要があります。

1

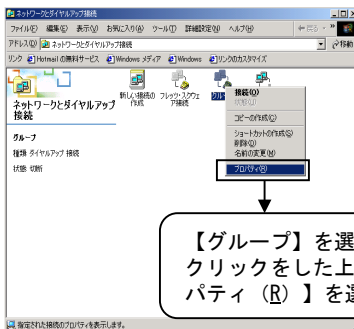
スタートメニューから【設定(S)】を選択し、【設定(S)】の中の【ネットワークとダイヤルアップ接続(N)】を選択します。



【設定(S)】の中の【ネットワークとダイヤルアップ接続(N)】をクリック

2

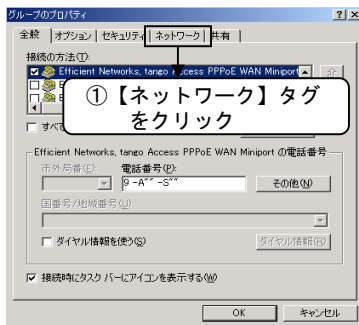
事前設定でグループ接続用として設定した名前【グループ】を選択し、右クリックをした上で【プロパティ(R)】を選択します。



【グループ】を選択し、右クリックをした上で【プロパティ(R)】を選択

3

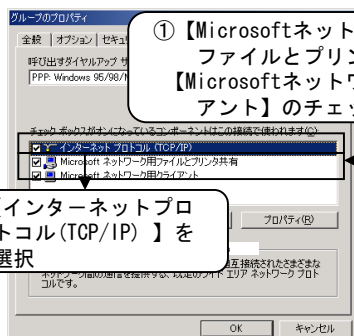
グループのプロパティ画面で、【ネットワーク】タグをクリックします。



①【ネットワーク】タグをクリック

4

【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオンにします。



①【Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有】、【Microsoftネットワーククライアント】のチェックをオン

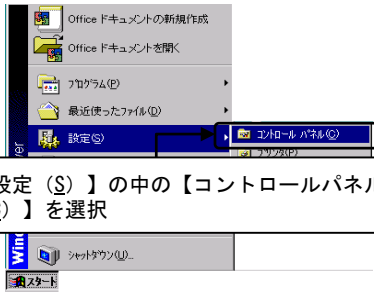
②【インターネットプロトコル(TCP/IP)】を選択

以上で、Windowsネットワーク利用の設定が完了しました。
引き続き、[P.24](#)でIPアドレスによる通信を行います。

Windows NTをご利用の場合のネットワーク設定手順

- Windows NTをご利用になる場合、サーバとクライアントの【リモートアクセスWANラッパー】を有効にする必要があります。

- 1 スタートメニューから、【設定 (S)】を選択し、その中の【コントロールパネル (C)】をクリックします。



【設定 (S)】の中の【コントロールパネル (C)】を選択

- 2 コントロールパネル画面で、【ネットワーク】をダブルクリックします。



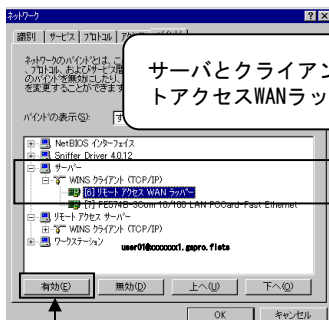
【ネットワーク】をダブルクリック

- 3 ネットワーク画面で、【バインド】タグをクリックします。



【バインド】タグをクリック

- 4 サーバとクライアントの【リモートアクセスWANラッパー】を選択し、【有効 (E)】をクリックします。



サーバとクライアントの【リモートアクセスWANラッパー】を選択

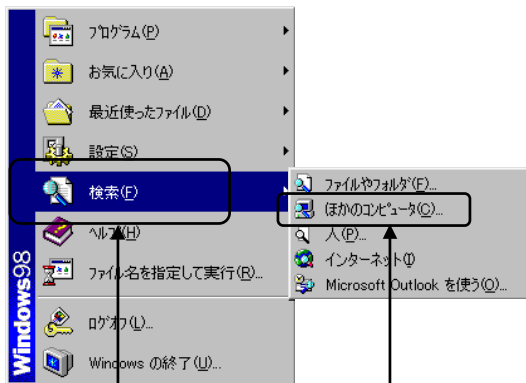
【有効 (E)】をクリック

以上で、Windowsネットワーク利用の設定が完了しました。
引き続き、P.24でIPアドレスによる通信を行います。

(2) IPアドレスを利用した通信方法

ここでは、コンピュータの検索による共有フォルダの検索方法について説明します。コンピュータの検索方法は、OSの種類やバージョンによって異なりますので、お客様の環境に応じて行ってください。(Windows 95をご利用の場合は、この操作を行うことはできません。)

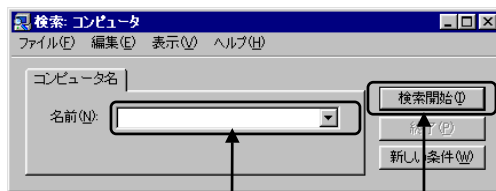
1 【スタート】→【検索(E)】→【ほかのコンピュータ(C)...】を開きます。



①【検索(E)】をクリック

②【ほかのコンピュータ(C)...】をクリック

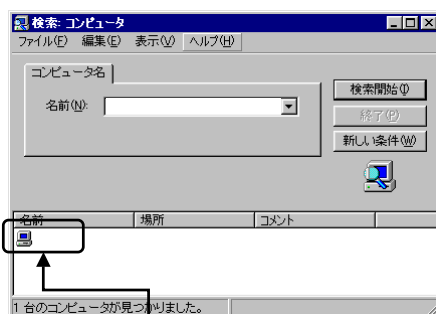
2 検索するコンピュータのIPアドレスもしくは、ホスト名を入力します。



①検索するIPアドレスもしくはホスト名を入力

②【検索開始(O) ...】をクリック

3 検索結果が表示されます。



検索されたコンピュータ名をダブルクリック

4 共有フォルダ等がある場合、フォルダが表示されます。



検索されない場合

■3で検索結果が表示されないお客様

- ・グループへ接続しているか再度確認をして下さい。
- ・検索するIPアドレスを再度確認をして下さい。
- ・グループへ誰も接続していない可能性があります。



フォルダが表示されない場合

■4でフォルダが表示されないお客様

- ・グループへ接続している相手が共有フォルダを設定していない可能性があります。



第3章 カスタマコントロールの利用【グループ参加者】

3-1 はじめに

グループ参加者は、カスタマコントロールを使用しパスワードの変更を行うことが可能です。グループ管理者がカスタマコントロールで設定できる機能に関しては、カスタマコントロール操作マニュアル（別冊）で説明します。

設定の前に

カスタマコントロールによる設定を行う前に、以下のものを準備してください。

■対応ブラウザ

対応しているブラウザのバージョンは以下のとおりです。

- ・Internet Explorer 4.0 以上
- ・Netscape Navigator 4.7 以上

【注意】

ブラウザの設定にて、以下のオプション設定を有効にさせていただく必要があります。

- Java
- JavaScript
(Internet Explorer では、アクティブスクリプト)
- すべてのCookie

3-2 カスタマコントロールでできること

グループ参加者はカスタマコントロールで以下の設定を行うことができます。

パスワード変更

グループ参加者は、カスタマコントロールで自分自身のパスワードを変更することが可能です。

設定方法はP 27



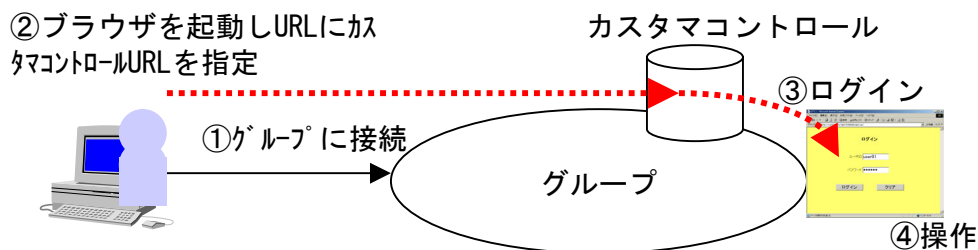
設定上の注意点

- ・パスワードとして入力できる文字、文字数には制限があります。

詳細はP 27 参照

3-3 カスタマコントロール利用手順

◆ ここでは、カスタマコントロールへログインする際の手順について説明します。



手順① グループに接続

グループの利用と同様の手順によりグループに接続します。
 なお、現在グループへ接続している場合については、手順②から実施ください。
 ※グループ接続の手順については、P 17 を参照してください。

手順② ブラウザを起動し、カスタマコントロールURLを入力

利用するブラウザをダブルクリックして起動し、URLに「カスタマコントロールURL」を入力して「Enter」を押下します。

◆ カスタマコントロールURL

カスタマコントロールURLには、P 9 の(6) のものを入力します。

手順③ ログイン

カスタマコントロールのログイン画面にて、グループユーザIDおよびパスワードを入力してログインします。

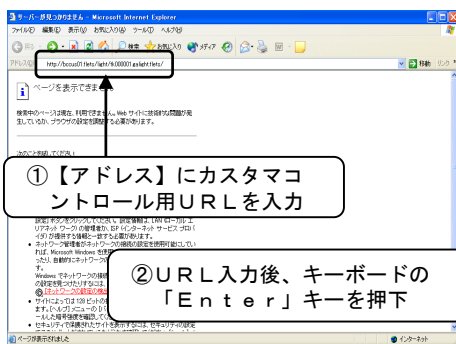
手順④ カスタマコントロールの操作

カスタマコントロールにおいてパスワード変更の操作を行います。

3-4 カスタマコントロール操作手順

◆ ここでは、グループに接続した状態から、カスタマコントロールに接続しログインおよびパスワードを変更する手順を説明します。

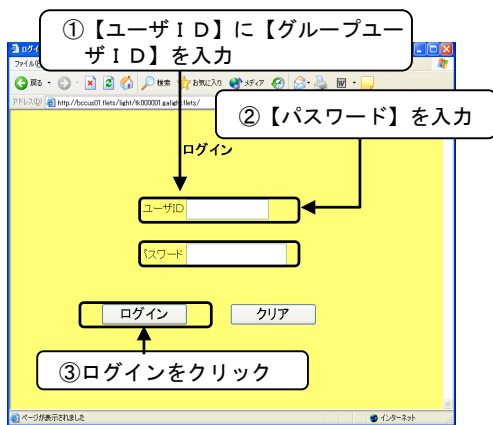
1 起動したブラウザの「アドレス」欄にカスタマコントロール用URLを入力します。



◆ カスタマコントロール用URL

P 9 の (6) カスタマコントロール用URLに記載されているURLを設定してください。

2 ログイン画面が表示されます。



◆ ログイン用ユーザID

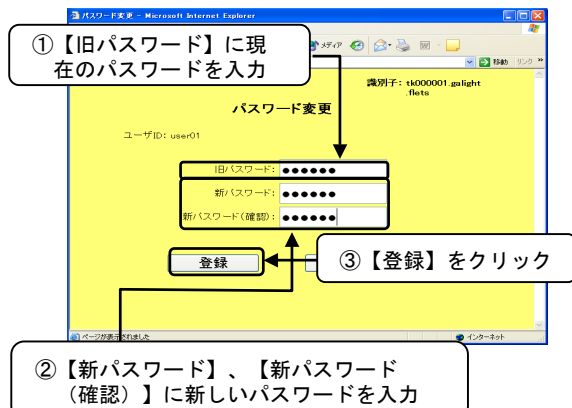
P 9 (3) のグループユーザIDを使用します。

例) user01

◆ パスワード

グループへの接続時に使用するパスワードと同じものを使用します。

3 パスワードの変更を行います。



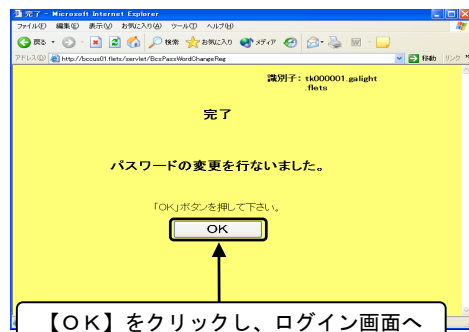
◆ 設定上の注意

「パスワード」に入力できる文字、文字数には以下の制限があります。

	文字数	入力可能文字
パスワード	1~128文字	半角英数字および記号。ただし、以下の記号を除く 【使用できない記号】 「:」 コロン、「@」 アットマーク 「,」 カンマ、「¥」 円マーク 「"」 ダブルクォーテーション 「 」 スペース、「\$」 ドルマーク

半角英字については、「大文字」と「小文字」を区別します。

4 正常に変更が終わると確認画面が表示されます。



以上で、カスタマコントロールによるパスワードの変更は終了です。

変更後にグループやカスタマコントロールへ接続をする場合は、変更したパスワードを使用します。

なお、カスタマコントロールの操作を終了する場合は、ブラウザ画面右上の「x」をクリックし、ブラウザを終了します。

第4章 トラブルが発生したら

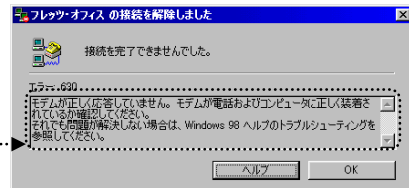
4-1 グループ接続時のトラブル

ここでは、グループ契約者がPPP接続、PPPoE接続を行うときの主なトラブルについて説明します。パソコン上に表示されるエラーメッセージの内容に応じて対処してください。

4.1 Windowsでのトラブル

❗ パソコンの設定等に問題があった場合、右側のエラーメッセージ画面が表示されます。

この部分にエラーの内容が表示されます。



<PPP接続の場合のエラーメッセージ>

エラーメッセージ ①

モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Windows 98ヘルプのトラブルシューティングを参照してください。

- 【原因1】 TA (ターミナルアダプタ) が正しく装着されていない。
- ◆パソコンとTAが正しくケーブル等で接続され、TAの電源が入っているか確認してください。
 - ◆TAの電源を一度切り、再び入れ直してから接続してみてください。
 - ◆パソコンに正しくTAの設定が行われているか、TA付属のマニュアル等をもとに確認してください。
 - ◆お使いのTAが選択されているか確認してください。

P 13 手順6の設定参照

- 【原因2】 PPP接続の設定で接続方法が正しく選択されていない。
- 【画面の表示方法】
- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
 - ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
 - ③【グループ接続用設定アイコン (例: グループ)】を右クリックし、プロパティをクリック
 - ④正しいTAが選択されているか確認

エラーメッセージ ②

ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをクリックしてやり直してみてください。

- 【原因1】 PPP接続の設定でダイヤルアップ番号が正しく入力されていない。
- ◆正しいダイヤルアップ番号が入力されているか確認してください。

P 13 手順6, 7の設定参照

- 【画面の表示方法】
- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
 - ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
 - ③【グループ接続用設定アイコン (例: グループ)】を右クリックし、プロパティをクリック
 - ④正しいダイヤルアップ番号が入力されているか確認します。
- 【原因2】 ダイヤルアップサーバの詳細オプションが正しく選択されていない。
- ◆余分なチェックがされていないかを確認してください。
- 【画面の表示方法】
- ①~③まで同上
 - ④【サーバの種類】タグをクリック
 - ⑤【ネットワークへのログオン】のチェックがはずれているか、【NetBEUI】と【IPX/SPX互換】のチェックがはずれているかを確認します。

【原因3】 ダイアルのプロパティにお使いの電話の市外局番が正しく入力されていない。

◆お客様の電話の市外局番が正しく入力されているか確認してください。

【画面の表示方法】

- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
- ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
- ③【グループ接続用設定アイコン（例：グループ）】をダブルクリック
- ④【発信元】の【ダイヤルのプロパティ】ボタンをクリック
- ⑤正しい市外局番が入力されているか確認します。

エラーメッセージ

③

【サーバの種類】で互換性のあるネットワークプロトコルが処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続し直してください。

【原因1】 使用できるネットワークプロトコルにTCP/IPが選択されていない可能性があります。

◆TCP/IPにチェックが入っているか確認してください。

【画面の表示方法】

- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
- ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
- ③【グループ接続用設定アイコン（例：グループ）】を右クリックし、プロパティをクリック
- ④【サーバの種類】タブをクリック
- ⑤使用できるネットワークプロトコルで【TCP/IP】のチェックがはずれているか、【NetBEUI】と【IPX/SPX】のチェックがはずれているかを確認します。

P 1 3 手順 7 の設定参照

エラーメッセージ

④

ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワークを確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください。

【原因1】 PPP接続の設定で「ユーザ名」および「パスワード」が正しく設定されていない可能性があります。

◆正しい「ユーザ名」、「パスワード」が設定されているか確認してください。

◆全角文字や「タブ」、「スペース」が入力されていませんか？
(文字はすべて半角入力です。また、大文字、小文字も区別します。)

【画面の表示方法】

- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
- ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
- ③グループ接続用設定アイコン（例：グループ）をダブルクリック
- ④正しいユーザ名およびパスワードが設定されているか確認

P 1 3 手順 9 の設定参照

エラーメッセージ

⑤

回線が使用中です。しばらく待ってからやり直してみてください。

【原因1】 ダイアルのプロパティでダイヤル方法が正しく設定されていない可能性があります。

◆ダイヤル方法で「トーン」が選択されているか確認してください。

【画面の表示方法】

- ①【マイコンピュータ】をダブルクリック
- ②【ダイヤルアップネットワーク】をダブルクリック
- ③【グループ接続用設定アイコン（例：グループ）】をダブルクリック
- ④【発信元】の【ダイヤルのプロパティ】ボタンをクリック
- ⑤ダイヤル方法でトーンが選択されているか確認します。

P 1 3 手順 1 0 の設定参照

< PPPoE 接続の場合のエラーメッセージ >

エラーメッセージ
① E 0 0 4 0 接続中にタイムアウト。

【原因1】 ケーブルが外れている、プロバイダ側の機器が回答しない可能性があります。今一接続をご確認ください。

エラーメッセージ
② E 0 0 3 7 認証に失敗。

【原因1】 PPPoE接続の設定で「ユーザ名」および「パスワード」が正しく設定されていない可能性があります。

- ◆正しい「ユーザ名」、「パスワード」が設定されているか確認してください。
- ◆全角文字や「タブ」、「スペース」が入力されていませんか？
(文字はすべて半角入力です。また、大文字、小文字も区別します。)

【画面の表示方法】

- ①フレッツ接続ツールをダブルクリックし開きます。
- ②カスタマコントロール用 接続設定アイコン (例: カスタマコントロール) をダブルクリック

P 1 4 手順 3 の設定参照

エラーメッセージ
③ I 0 0 9 2 ゲートウェイが見つかりません。

【原因1】 これは、接続時に必ず表示されるメッセージで問題はありません。

- ◆ 上記のエラーメッセージ①、③は、フレッツ接続ツール v e r 2 . X 以前をご利用中の場合に
表示されるエラーメッセージです。フレッツ接続ツール v e r 2 . X 以降をご利用中の場合には、
上記エラーメッセージは表示されません。

4-2 カスタマコントロール利用時のトラブル

ここでは、カスタマコントロールを利用するときの、主なトラブルについて説明します。トラブルの内容に応じて対処してください。

内容①

カスタマコントロールのログイン画面が表示されません。

【原因1】 ◆URLは正しく入力されていますか？

⇒弊社より指定した「カスタマコントロール用URL」が正しく入力されているか確認してください。

P 27 手順 1 の設定参照

内容②

カスタマコントロールへログインできません。

【原因1】 ◆「ログイン用ユーザID」および「ログイン用パスワード」は正しく入力されていますか？

⇒弊社より指定した、「ログイン用ユーザID」および「ログイン用パスワード」が正しく入力されているか確認してください。
(半角英字については、「大文字」と「小文字」を区別します)
また、すでに「ログイン用パスワード」の変更を行った場合は、変更したパスワードを入力してください。

P 27 手順 2 の設定参照

◆ 旧パスワードを忘れてしまったら

グループ参加者が旧パスワードを紛失された場合は、グループ管理者の方にお問合せ下さい。
また、グループ管理者が旧パスワードを紛失された場合は、当初弊社より指定した初期パスワードへ戻す必要があります。
弊社の公式ホームページからもしくは「パスワード初期化申込書」にて、弊社に御連絡願います。

内容②

パスワードの新規登録ができません。

【原因1】 ◆旧パスワード、新パスワードが正しく入力されていない可能性があります。

⇒パスワードが正しく入力されているか確認してください。(半角英字については、「大文字」と「小文字」を区別します)

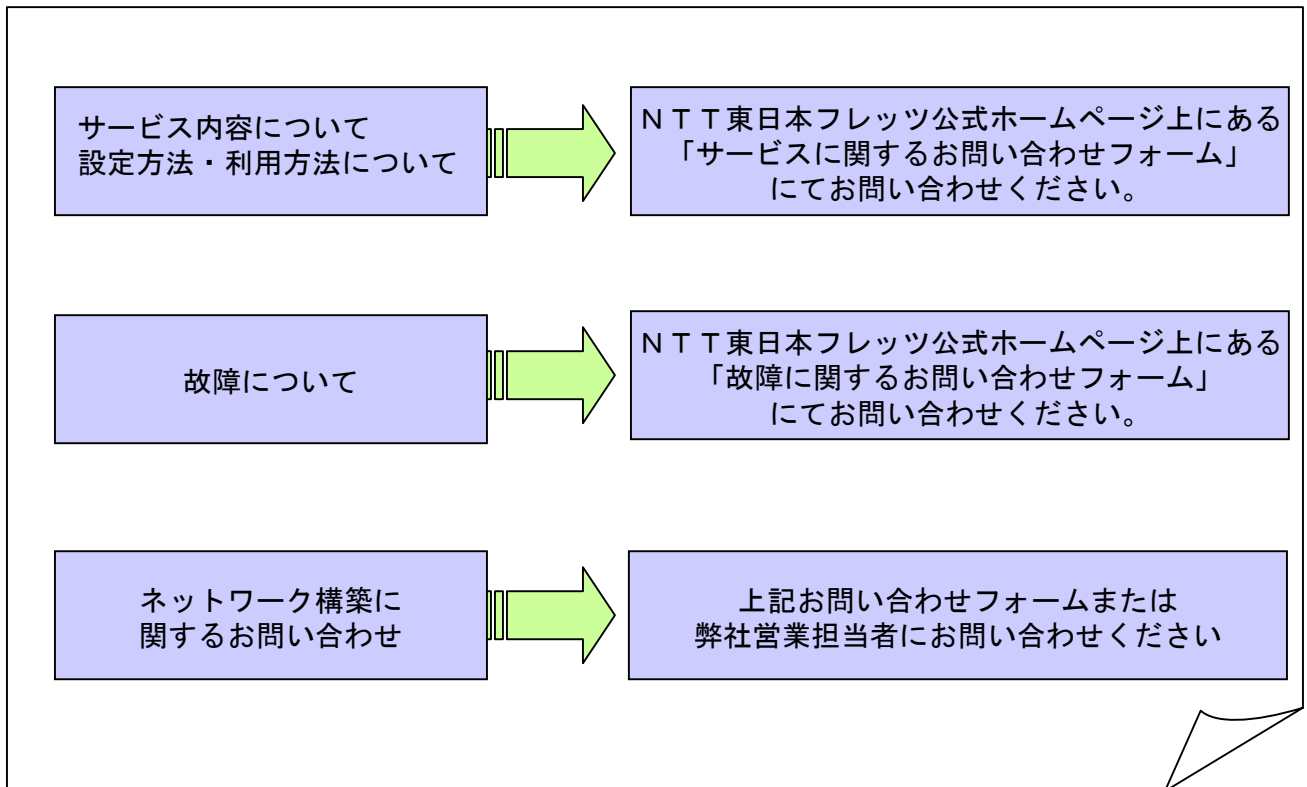
P 27 手順 3 の設定参照

◆ 旧パスワードを忘れてしまったら

グループ参加者が旧パスワードを紛失された場合は、グループ管理者の方にお問合せ下さい。
また、グループ管理者が旧パスワードを紛失された場合は、当初弊社より指定した初期パスワードへ戻す必要があります。
弊社のホームページからメールもしくは「パスワード初期化申込書」にて、弊社に御連絡願います。

5-1 お問い合わせ窓口一覧

お問い合わせは、NTT東日本フレッツ公式ホームページ (<http://flets.com/>)にあるフレッツグループアクセスに関するお問い合わせフォームで承っております。



5-2 パスワードを紛失した場合

グループ管理者が、パスワードを紛失された場合、以下の手続きを行う必要があります。グループ参加者がパスワードを紛失された場合は、グループ管理者がカスタマコントロール上でパスワードの再設定を行ってください。

方法1 ホームページ上のフォームより申し込む方法

NTT東日本フレッツ公式ホームページの「フレッツ・グループアクセス」ページにある「パスワードの初期化／グループ暗証番号の変更のお申し込み」フォームよりお申込みください。後日、弊社担当者より折返しご連絡いたします。

NTT東日本フレッツ公式ホームページURL : <http://flets.com/>

方法2 申し込み書のFAXにより申し込む方法

巻末の「パスワードの初期化／グループ暗証番号の変更お申し込み書」を利用するか、NTT東日本フレッツ公式ホームページより申し込み書をダウンロードし、必要事項記入後、下記の番号へFAXで送信してください。

FAX先 : 0120-275411
(受付時間 : 24時間受付)

※FAX受領後、後日弊社担当者よりご連絡いたします。

フレッツ・グループアクセス ライト
セットアップガイド (Windows版)

発行日:2003年10月30日 第9版

発行 :東日本電信電話株式会社

〒163-8019

東京都新宿区西新宿3-19-2

© 2003 東日本電信電話株式会社
